

2013年11月26日 19時20分～20時

1. 教科の概要について説明

学科長

倉持：介護福祉士養成の卒業時到達目標とカリキュラムについて説明。旧カリキュラムから新カリキュラム移行の背景と新カリキュラムの養成方針について。2009年から新カリキュラムとして、生活支援を元に尊厳を支える介護が厚生労働省の介護福祉士養成に向けた指針が示された。「人間と社会」「こころとからだ」「介護」の3領域が示され、さらに資格取得時の養成像や資格取得時の姿が明示されている。

新カリキュラムでは、学校ごとに特徴あるカリキュラム作成も可能となった。

本校のカリキュラムの特長について。

カレッジスピリット「互いに愛し合いなさい」を基盤として卒業時の到達目標を明確化した。

①コミュニケーション力では、将来のリーダーを意識した取り組みを行っている、②根拠に基づいた生活支援技術、生活体験が不足している学生たちにその機会を提供している、技術に関する時間数が増えたため、1学年80人ではあるが、実技の授業（学生20人に4人の教員を配置）では1教員が5人を見られる授業体制をとっている。③知識教養では、高校からの入学者の学力低下に対応するため学生動機付けを実施している。学力の弱い学生に対して教員がチューターとして関わる仕組みをとっている。また、グループワークを通して班の中で互い支えあう仕組みも設けている。

教科概要では、3領域に分かれて教育内容ごとに科目を設定している。「人間と社会に関する科目」では学校独自の科目を設定している。学習支援演習では週に1回実施し学生の学習への促しを目的とした科目である。特別教育演習では、外部講師を招いて授業を設定している。2013年度は東京の障害者国体へのボランティアとして参加することで障害者の理解につなげている。就職実践演習では、就職に向けた授業として学校での学びの統合、現場の人事の方を招いて模擬面接を実施するなど就職動機付けを実施している。

以上、本学科の授業説明とする。

2. 質疑応答

一同

白井委員：授業単位数が2106時間であるが、医療的ケアが次年度から実施されると授業時間数をどのように考えるのか。カレッジスピリットを基にするキリスト教を基盤とする科目についてどのように考えているか。

倉持：授業科目の中で取り入れている。クリスマス礼拝も実施している。

白井委員：何か、YMCA 独自のものがあってもよいのかと考えるが、実習やボランティアを通して学ぶことが大切ではないか。例えば、実習に行く前にボランティアを取り入れるなど考えられるのでは。授業の中で活かしてみてもどうか。

望月委員：卒業生がリーダーとなっていくためにも、コミュニケーション力が大切である。利用者の生活を支える視点については、地域活動の実践も学ぶことも必要ではないだろうか。施設サービスの内側を見るだけでなく地域への視点を持つことが求められる。演習科目の中で実施していく。

倉持：介護の基本Ⅵでは、地域福祉の視点を学ぶ科目領域を設定している。都会の限界集落をテーマに地域福祉の視点について学ぶ機会を設定しているが、地域での生活を基盤とした介護のありかた、地域住民の一員という視点も設けたい。

白井委員：こころとからだのしくみでは、他の学校でも取り組んでいることではあるが、医療的ケアの科目を考えると、現場サイドでも実施されている内容と他の科目の授業の内容との整合性やつながりについてはどのように考えているか。

倉持：からだの基本的な仕組みやその応用とをつなげるため、1年生の夏までに解剖生理に相当する授業内容を設定しているが、時期を同じくして生活支援技術とリンクする授業進捗を図っている。

白井委員：学びは深まっているのか。

倉持：授業の科目のつながりを意識することで、理解は深まっているのではないかと考えている。

白井委員：実習についてはどのように実施しているのか。

倉持：1年次3回の実習を設定している。6月に5日間コミュニケーション中心の実習、11月に10日間、12月に11日間設定している。2年次では9月、10月に同一施設で3週間で2度、15日プラス15日間設定している。

3. 現場から学校に期待すること 各委員

白井委員：ボランティアやキリスト教の考えが伝わる内容があってもよいのでは。
医療的ケアに向けたカリキュラムへの取り組み。

望月委員：地域社会を意識したコミュニケーション力が必要なのは。

4. 教育課程への意見（ディスカッション） 一同

認定介護福祉士に向けて、職能団体としての意見

専門に特化するのではなく、マネジメントができる介護福祉士であり、かつ医療的な視点やリハビリテーションの視点を持つことが求められている。生活支援を主軸にして、介護福祉士がさまざまな専門職間の連携が出来る知識が求められる。

現場からの意見

介護福祉士として地域の福祉を理解し意識した学生を育ててほしい。施設も地域社会の一員である。

5. まとめ 学科長